

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年1月30日(2020.1.30)

【公開番号】特開2019-181305(P2019-181305A)

【公開日】令和1年10月24日(2019.10.24)

【年通号数】公開・登録公報2019-043

【出願番号】特願2019-144294(P2019-144294)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和1年12月13日(2019.12.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

可変表示を行い有利状態に制御可能な遊技機であって、

前記有利状態に制御される期待度に応じて表示態様を段階的に変化可能な特定表示を行う特定表示手段と、

遊技者による操作に応じて演出に関する設定を行う設定手段と、

共通の導入演出を行った後に成功演出または失敗演出のいずれかを行う特定演出を実行可能な特定演出実行手段と、を備え、

前記特定表示手段は、

特定表示の表示態様が変化されることが報知された後所定期間が経過したときに前記特定表示の表示態様を変化させ、

前記設定手段は、特定表示の表示態様が変化されることが報知された以後の所定期間ににおいても前記演出に関する設定が可能であり、

前記特定演出実行手段は、特定表示の表示態様が前記有利状態に制御される割合が高い表示態様に変化することの報知を行った後の所定期間ににおいて前記特定演出を実行する場合は、前記失敗演出が行われる前記特定演出は実行せず、前記成功演出が行われる前記特定演出は実行可能である、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

(A) 上記目的を達成するため、本発明に係る遊技機は、

可変表示を行い有利状態に制御可能な遊技機であって、

前記有利状態に制御される期待度に応じて表示態様を段階的に変化可能な特定表示を行う特定表示手段と、

遊技者による操作に応じて演出に関する設定を行う設定手段と、

共通の導入演出を行った後に成功演出または失敗演出のいずれかを行う特定演出を実行

可能な特定演出実行手段と、を備え、

前記特定表示手段は、

特定表示の表示態様が変化されることが報知された後所定期間が経過したときに前記特定表示の表示態様を変化させ、

前記設定手段は、特定表示の表示態様が変化されることが報知された以後の所定期間においても前記演出に関する設定が可能であり、

前記特定演出実行手段は、特定表示の表示態様が前記有利状態に制御される割合が高い表示態様に変化することの報知を行った後の所定期間において前記特定演出を実行する場合は、前記失敗演出が行われる前記特定演出は実行せず、前記成功演出が行われる前記特定演出は実行可能である、

ことを特徴とする。

(1) 上記目的を達成するため、他の態様に係る遊技機は、

可変表示を行い有利状態に制御可能な遊技機（例えばパチンコ遊技機1など）であって

、
有利度に応じて表示態様を段階的に変化可能な特定表示を行う特定表示手段（例えば特定表示演出を行う演出制御用CPU120など）と、

遊技者による操作に応じて演出に関する設定を行う設定手段（例えばステップS78の処理を実行する演出制御用CPU120など）と、を備え、

前記特定表示手段は、特定表示の表示態様が変化されることが報知された後所定期間が経過したときに前記特定表示の表示態様を変化させ（例えば特定表示としてのアイコンが表示されることを報知する特定表示変化報知が所定期間継続して行われ、その後アイコンが表示される（特定表示が変化する）など）、

前記設定手段は、特定表示の表示態様が変化されることが報知された以後の所定期間においても前記演出に関する設定が可能である（例えば特定表示としてのアイコンが表示されることが報知された以後の所定期間内においても演出に関する設定が可能であるなど）

、
ことを特徴とする。